WAVIO AV SYSTEM

Portable Multimedia Player

MP-1000J

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に裏表紙に記載の保証書とともに
大切に保管してください。

目　次

はじめに 2
付属品 2
動作環境 2
規格・仕様 3
注意事項 4
各部の名称と主な働き 5
1. 使用準備 6
1.1 ハードディスクを接続する 7
1.2 USB 経由で内蔵ハードディスクをフォーマットする 8
1.2.1 Windows 2000 8
1.2.2 Windows XP 10
1.3 パソコンのデーターを USB 経由で転送する 12
1.3.1 Windows 2000, XP 11
2. マルチメディアプレーヤーとして使用する 12
2.1 映像機器に接続する 12
2.1.1 ビデオケーブルを接続する 12
2.1.2 オーディオケーブルを接続する 13
2.1.3 IR ケーブル（リモコン受光部延長コード）を接続する 13
2.2 基本設定 14
2.2.1 ビデオ設定 14
2.2.2 オーディオ設定 16
2.2.3 その他の設定 17
2.2.3.1 画面モード設定 17
2.2.3.2 静止画プレビューメニュー 17
2.2.3.3 ファームウェアバージョンを確認する 17
2.3 基本メニュー画面 18
2.3.1 メディアタイプとファイルの選択 18
2.4 ビデオファイルを再生する 20
2.5 DVD ファイルを再生する 22
2.6 音楽ファイルを再生する 24
2.7 画像ファイルを再生する 26
2.8 プレイリストを作成する 28
2.9 リモートコントローラー 29
2.10 その他 30
2.10.1 背景画像を変更する 30
2.10.2 文字の色を変更する 30

はじめに

MP-1000J は高速 USB2.0 接続 2.5 インチハードディスク（HDD）対応ポータブルマルチメディアプレイヤーです。
ご家庭のテレビや車載テレビと接続して PC より転送した動画・写真・音楽ファイルを楽しむことができます。また、USB 外付けハードディスクとしても利用できます。

- ➢テレビや車載テレビに接続する事でマルチメディアプレイヤーとして利用できます。
- ➢USB 2.0 外付けハードディスクとして利用できます。 (NTFS, FAT32 システム)
- ➢ステレオ, デジタル同軸出力に対応。
- ➢コンポジット, コンポーネント出力（480p, 720p, 1080i）など多彩なビデオ出力形式に対応。
- ➢VOB ファイルの再生も可能。

付属品

ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。
（ ）内の数字は数量を表しています。

- ・ポータブル マルチメディア プレーヤー MP-1000J 本体（１）
- ・リモコン（１）
- ・AC アダプタ（１）
- ・キャリングケース（１）
- ・カー用シガーライターアダプター（１２V、２４V 車兼用）（１）
- ・IR センサー（リモコン受光部延長コード）（１）
- ・USB ケーブル（１）
- ・コンポーネントケーブル（１）
- ・AV ケーブル（コンポジットビデオ＋RCA ステレオケーブル）（１）
- ・同軸デジタルケーブル（１）
- ・ハードディスク固定用ネジ（４）
- ・取扱説明書（保証書付、本書）（１）
- ・ユーザー登録カード（１）

動作環境

- ・対応機種：USB 規格 Rev.1.1 準拠の USB ポートを標準装備したパソコン/AT 互換機（USB2.0 接続可）
  Intel®製 USB ホストコントローラー推奨、USB2.0 推奨
- ・対応 OS：Windows®2000 Professional 日本語版 SP3 以降/XP 日本語版 SP1 以降
- ・CPU Intel® Celeron® 800MHz 以上
  （Intel® Pentium® III 800MHz 以上推奨）
- ・メモリ：128MB 以上（Windows®2000）/ 256MB 以上（Windows®XP）

Windows について

Windows 日本語版が現在の状態で正しく起動できることを確認してください。

・WAVIO（ウェビオ）の名称およびロゴはオンキヨー株式会社の登録商標です。
・Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。
・Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国および他の国における登録商標または商標です。
・Intel、Pentium は Intel Corporation の登録商標です。

規格仕様

商品名称		ポータブルマルチメディアプレーヤー
電源		DC 5V / 2A
重量		約 225g (ハードディスクを含まない)
寸法		約 80 x 148 x 24 mm
対応 OS		Windows 2000/XP
USB インターフェイス		USB 2.0 (USB 1.1 対応可能) / Slave モード
ハードディスク　タイプ		2.5 インチ IDE HDD (※本製品には HDD は含まれていません)
ハードディスクファイルシステム		NTFS / FAT32
テレビタイプ		NTSC / PAL
対応フォーマット	Movie	MPEG 1, 2, 4 (MPG, MPEG, AVI, M2V, DAT, VOB, IFO その他) DivX, XviD (GMC, Qpel option applied フォーマットを除く)
	音楽	MP3, OGG Vorbis, WAV, WMA (WMA9 pro lossless を除く)
	画像	JPG(JPEG)
ビデオ出力		コンポジット コンポネント Y, Pb, Pr (480p, 720p, 1080i プログレッシブ　スキャン)
オーディオ出力		ステレオ L-R(アナログ) デジタル同軸(Dolby Digital、DTS Pass-Through 式再生のみ)

注意事項

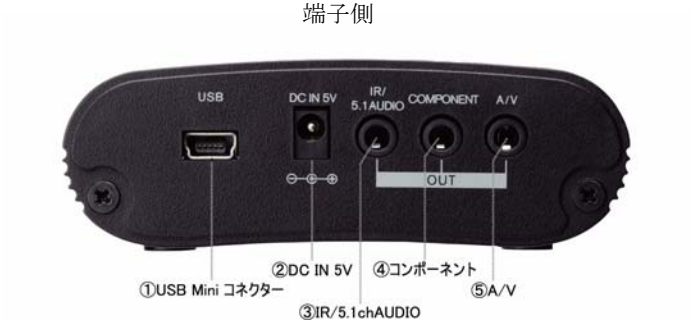
- 重要なデータは事前のバックアップを推奨します。
  弊社ではデータの破損や紛失に対するいかなる責任も負いかねます。
- 長時間使用しない場合、AC アダプターを抜いてください。
- 本機は GMC, Qpel option コーデックが含まれている DivX, XviD の映像ファイルには対応していません。
- 本機は DTS オーディオコーデックに対し“Pass-Through”再生形式のみ対応しています。
- ファイル再生中に電源を切らないでください。故障の原因になります。
- USB ケーブルが長すぎる場合、接続に支障の生じることがあります。（３メートル以内を推奨します）
- USB 1.1 ホストアダプターをお使いになった場合、パソコンから本機への転送は、USB1.1 の速度となります。
- フォーマットされていないハードディスクを本機に装着した場合、パソコンで認識できません。
  ご使用になる前にかならずハードディスクをフォーマットしてください。
- 本機添付のアクセサリ類以外のアクセサリを用いたことにより起こりました故障・事故に関しましては弊社ではいかなる責任も負かねます。
- 水分や高温多湿環境を避けてください。火災や感電の原因となります。
  水分や保証外の高温多湿環境で使用された際に起きました故障および事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 高温や直射日光を避けてください。
- 強い磁気を帯びている機器から離してご使用ください。ハードディスクのデータが破損あるいは紛失する原因となります。

各部の名称と主な働き

表示側

表示側	①電源 LED	電源 ON 時に点灯、OFF 時に消灯します。
	②ハートディスクアクセス LED	ハードディスクアクセス時に点滅します。
	③リモコン信号受光確認用 LED	本機がリモコン信号を受光した時に点滅します。
	④リモコンセンサーエリア	リモコンセンサーが格納されている場所です。 遮蔽物で覆わないようにしてください。

端子側

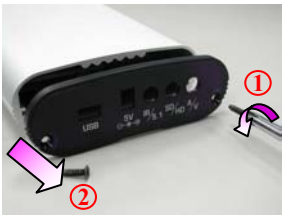


端子側	① USB Mini コネクタ	Mini タイプの USB コネクタ。パソコンからのデータ転送に使用します。
	② DC IN 5V	付属の AC アダプタを接続します。
	③ IR/5.1AUDIO	付属の同軸ケーブルを使用し AV アンプ等の同軸デジタル端子と接続します。（Dolby Digital、DTS の Pass-Through のみに対応） または、リモコン受光部延長コードを接続します。
	④ COMPONENT	付属のコンポネントケーブルを使用し、コンポーネント入力端子を持つテレビなどと接続します。
	⑤ A/V	付属の AV ケーブルを使用し、コンポジット端子を持つテレビ等と接続します

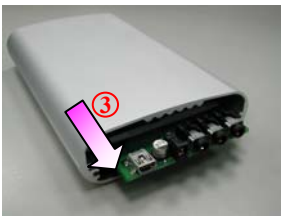
1. 使用準備
1.1 ハードディスクを装着する

※　2.5 インチ IDE HDD（ハードディスク）を使用してください。
※　ハードディスクをマスターモードにする必要があります。
ただし，シングルモードをサポートするハードディスクを使う場合は,シングルモードにセットする必要があります。

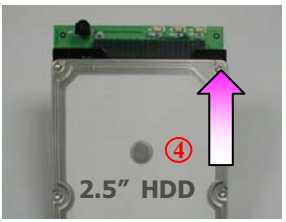
●ハードディスクの装着手順
☞実際の製品とは若干画像が異なりますが、ご了承ください。



①端子側パネルの 2 箇所のねじをはずす。
②プラスチックパネルをはずす。

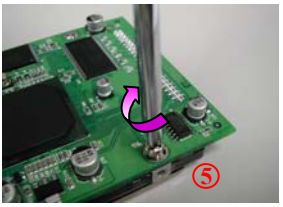


③基板をゆっくり引き出す。
（丁寧にお取り扱いください）

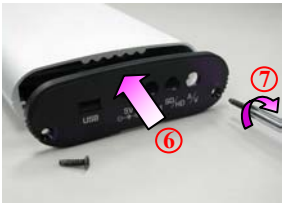


④ハードディスクのメーカーラベルが写真のように上に向くように配置し、HDD コネクタを基板のピンソケットにさし込む。

その際ピンを破損しないようにご注意ください。（作業中にピンが破損すると HDD が正常に動作しません。また、作業中の事故に関しまして、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承願います。）



⑤付属のネジを用い、写真のようにハードディスクを基板に固定する。（付属の４つのネジで確実に固定してください）



⑥基板をケースにゆっくり差し込む。
⑦端子側パネルをもとどおりに取り付ける。
（基板の裏表を間違わないようにご注意ください）

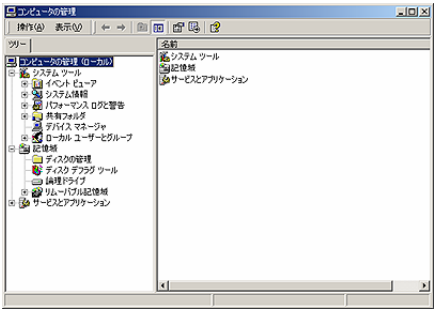
1.2 USB 経由で内蔵ハードディスクをフォーマットする

新規にご購入されたハードディスクまたはファイルシステムを変更する際、ハードディスクのフォーマットが必要となります。その際は下記の手順に従ってハードディスクをフォーマットしてください。
フォーマット終了後は、“1.3 USB 経由でデータをコピーする”に進んでください。

1.2.1 Windows 2000

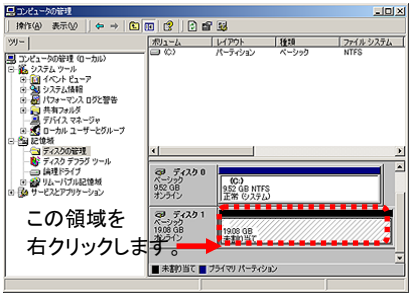
1)USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。
（認識できない場合は、本機に付属のＡＣアダプターを接続してください）

2)WINDOWS で [スタート→ 設定 →コントロールパネル→ 管理者ツール → コンピュータの管理→ ディスクの管理] を選択します。

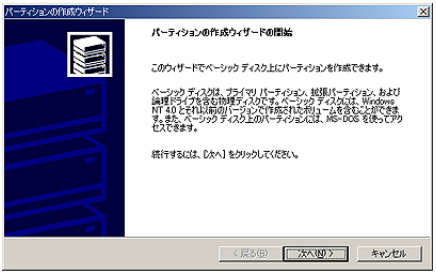


3)[ディスクのアップグレードと署名ウィザード]が起動したら、[次へ]をクリックします。署名するディスクの選択では[ディスク]横にチェックを入れ[次へ]をクリックします。アップグレードするディスクの選択では[ディスク]横のチェックをはずし、[次へ]をクリックします。最後に[完了]をクリックし、ウィザードを終了させます。

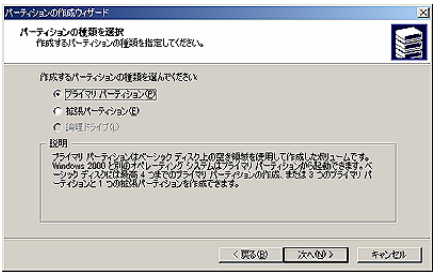
4)次に、未割り当て領域を右クリックし、[パーティションの作成]をクリックします。



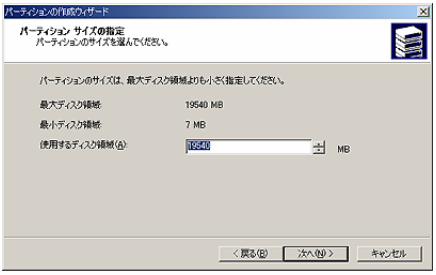
5)パティション作成ウィザードのウィンドウで[次へ]をクリックします。



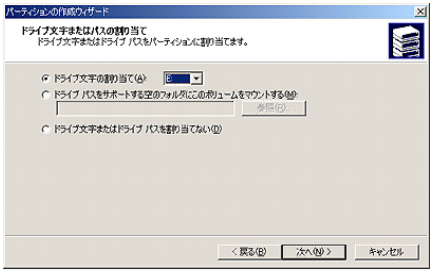
6)[プライマリパーティション]を選択し、[次へ]をクリックします。



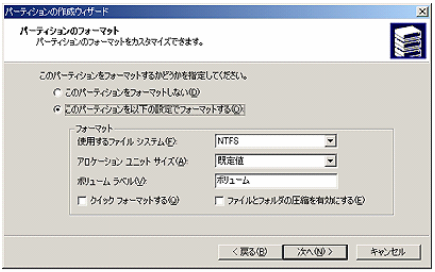
7)容量を入力し、[次へ]をクリックします。



8) ドライブレターを決め、[次へ]を押します。



9)ファイルシステムを FAT32 もしくは NTFS から選択し、[次へ]をクリックします。
（NTFS を推奨します。）.



10) ウィザードのセットアップを終了すると，
フォーマット作業が自動的に開始されます。

（ご注意）

※FAT 32 システム は windows 98SE/ME/2000/XP に対応できますが，NTFS システムは windows 2000/XP のみに対応しています。

※Windows 2000/XP 環境で FAT32 システムを利用するとき，1 つのドライブの最大容量は 32GB（ギガバイト）までです。

※1 つのハードディスクを 2 つか複数の領域に分割する場合は、プライマリパーティション（基本領域）にする必要があります。

1.2.2 Windows XP

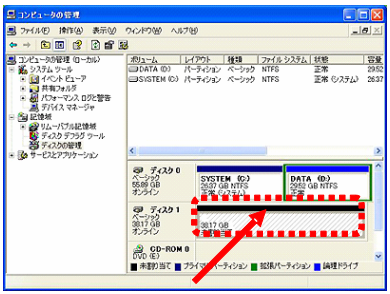
1) USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。 .

（認識できない場合は、本機に付属のＡＣアダプターを接続してください）

2) Windows で [設定→コントロールパネル→管理ツール→コンピューターの管理→ディスクの管理]をクリックします。コントロールパネルで管理ツールが見つからなかったら、画面の左上の“ クラシック表示に切り替える”をクリックしてください。

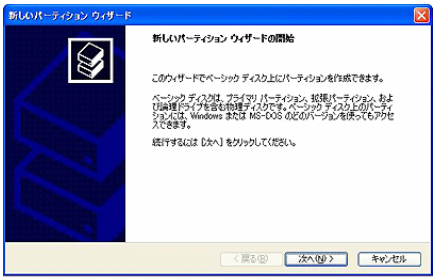
3) [ディスクの初期化と変換ウィザード]が起動したら、[次へ]をクリックします。初期化するディスクの選択では[ディスク]横にチェックを入れ[次へ]をクリックします。変換するディスクの選択では[ディスク]横のチェックをはずし、[次へ]をクリックします。最後に[完了]をクリックし、ウィザードを終了させます。

4) 次に、未割り当て領域を右クリックし、[新しいパーティション]をクリックします。

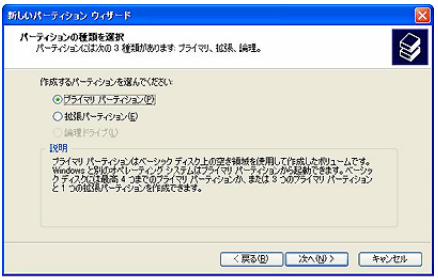


この領域を
右クリックします。

5) パティション新規作成ウィザードのウィンドウで[次へ]をクリックします。



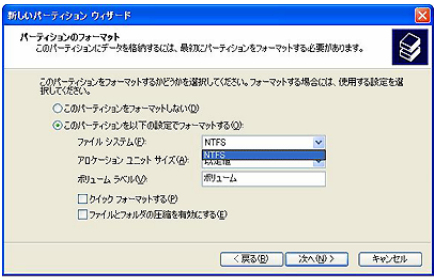
6) [プライマリパーティション] を選択し、[次へ]をクリックします。



7) 容量を入力し、[次へ]をクリックします。

8) ドライブレターを決め、[次へ]をクリックします。

9) ファイルシステムを FAT32 もしくは NTFS から選択し、[Next]をクリックします。
（NTFS を推奨します。）.



（ご注意）

※FAT 32 システム は windows 98SE/ME/2000/XP に対応できますが, NTFS システムは windows 2000/XP のみに対応しています。

※Windows 2000/XP 環境で FAT32 システムを利用するとき, 1 つのドライブの最大容量は 32GB（ギガバイト）までです。

※1 つのハードディスクを 2 つか複数の領域に分割する場合は、primary partition(基本領域)にする必要があります。

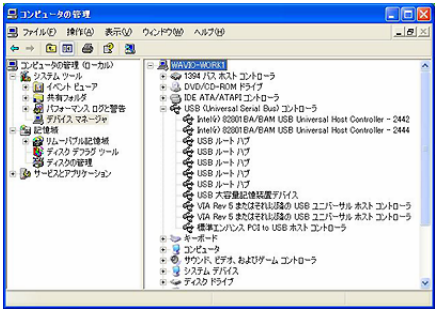
10)ウィザードのセットアップを終了すると，フォーマット作業が自動的に開始されます。

1.3 パソコンのデータを USB 経由で転送する

USB ケーブルを経由してデータをパソコンから MP-1000J（本機）の内蔵ハードディスクへドラッグ＆ドロップで簡単に転送できます。音楽、動画、写真ファイルに関しては、あらかじめそれぞれ別々のフォルダ作成し、その中に格納していただきますとテレビに接続してファイルを再生する場合に大変便利です。
※本機の電源供給は USB 接続したパソコンより行いますが、パソコンで認識できない場合は，本機付属の AC アダプターを使用して電源供給することをお奨めします。

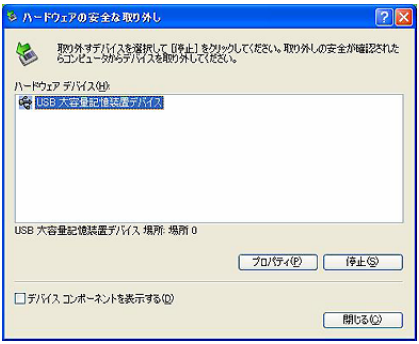
1.3.3 Windows 2000，XP

1)本機をパソコンに接続したら Windows は自動的にドライバーをインストールします。Windows の[スタート→設定→コントロールパネル→（クラシック表示に切り替える→システム→ハードウェア→デバイスマネジャー→Universal Serial Bus Controller→USB 大容量記憶装置デバイス]でドライバーインストール状況を確認してください。



2) “マイコンピューター”か“エクスプローラ”で、新しいボリュームが表示されていることを確認します。そこへファイルをコピーすることができます。

3)データコピーが完了したら，Windows タスクバーにあるデバイス取り外しアイコン を使って本機を外してください。この手順に従わない場合は、本機と本機内のデータに破損が生じる可能性があります。



※WindowsXP を使用している時、本機を USB 1.1 スペックのホストアダプターに接続した場合“この USB デバイスは、高速 2.0USB ポートに接続するとさらに高速で実行できます”というメッセージが表示されます。

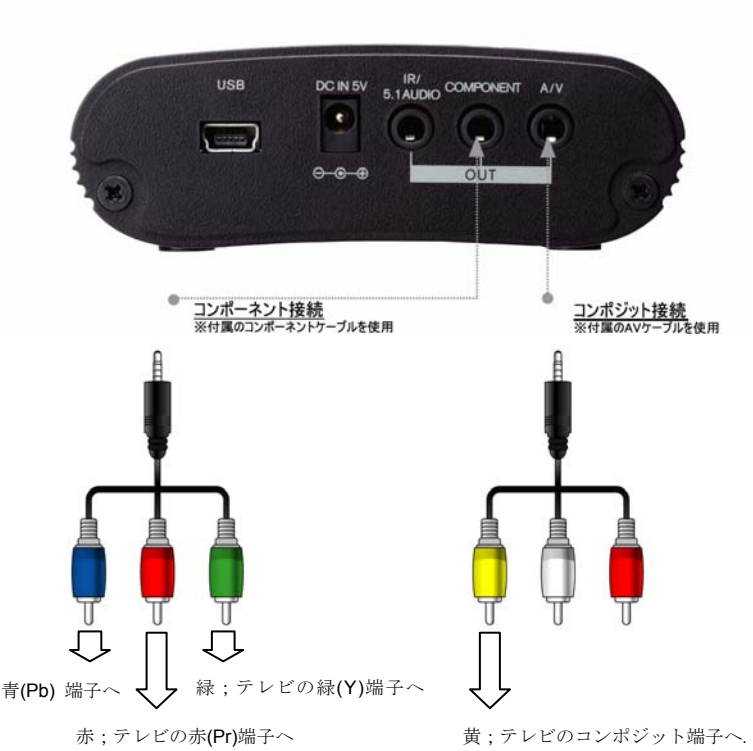
※新しいボリュームが出現しなかった場合は、ハードディスクをフォーマットしたかどうか、あるいは使用するファイルシステムを確認してください。Windows 2000 と XP は FAT32 と NTFS ファイルシステムを両方認識できます。あるいは本機の電源ケーブルを接続し直してください。

2.マルチメディアプレイヤーとして使用する

2.1 映像機器に接続する

2.1.1 ビデオケーブルを接続する

本機はコンポジットとコンポーネントの 2 つのタイプのビデオ出力をサポートしています。
ご使用のテレビの映像入力端子に合わせてビデオ接続を行ってください。
※必ず付属の AC アダプターを接続して電源供給を行ってください。
※テレビに接続している時は USB ケーブルを接続しないでください。映像が表示されません。



※ビデオケーブルを接続し本機の電源を入れてもテレビ画面に何も映らない場合は、下記事項を確認し、実行してください。

1.テレビのビデオ入力が複数ある場合、本機を接続している入力モードに切り替わっていることを確してください。詳しくはテレビの取扱説明書を参照ください。

2. 本機の付属リモコンの"VIDEO"ボタンを繰り返して押してください。 "VIDEO"ボタンを押すたびにビデオ出力のシグナルが変わります。

3. ノーマルスクリーンが表示されたら，セットアップ機能でビデオ出力設定を行ってください。
詳しくは、「2.2.1 ビデオ設定」内の設定手順を参照ください。

2.1.2 オーディオケーブルを接続する

本機はステレオ、同軸（デジタル）の 2 つのタイプのオーディオ出力をサポートしています。接続するテレビやオーディオ機器に応じて接続方法を選択してください。
※テレビに接続している時は USB ケーブルを接続しないでください。音声が出力されません。
※IR ケーブル（リモコン受光部延長コード）を接続する際は、同軸ケーブルは接続できません。
あらかじめご了承ください。

※同軸ケーブルを接続した後も音声が出ない場合は，本機のオーディオ設定をエンコーデッド・デジタルに変更する必要があります。 詳しくは「2.2.2 オーディオ設定」を参照ください。

2.1.3 IR ケーブル（リモコン受光部延長コード）を接続する

車載用途などで本機をご利用の場合、設置場所によりリモコンセンサーエリアが隠れてしまう場合などは、同梱の IR ケーブル（リモコン受光部延長コード）を IR/5.1AUDIO 端子に接続します。受光部を両面テープをはがして、ダッシュボードなど適当な位置に貼り付けてご使用ください。なお、IR ケーブル（リモコン受光部延長コード）は同軸ケーブルと同時に使用できません。

2.2 基本設定

2.2.1 ビデオ設定

まずはじめに、本機のビデオ出力とテレビのビデオ入力モードを同じにしてください。

※ビデオケーブルを接続し本機の電源を入れてもテレビ画面に何も映らない場合は、下記事項を確認し実行してください。

1. テレビのビデオ入力が複数ある場合、本機を接続している入力モードに切り替わっていることを確認してください。詳しくはテレビの取扱説明書を参照ください。
2. 本機の付属リモコンの”VIDEO”ボタンを繰り返して押してください。 “VIDEO”ボタンを押すたびにビデオ出力のシグナルが変わります。
3. ノーマルスクリーンが表示されたら、セットアップ機能でビデオ出力設定を行ってください。詳しくは、次ページの「設定手順」を参照ください。

●ビデオ入出力モードと使用ケーブル一覧

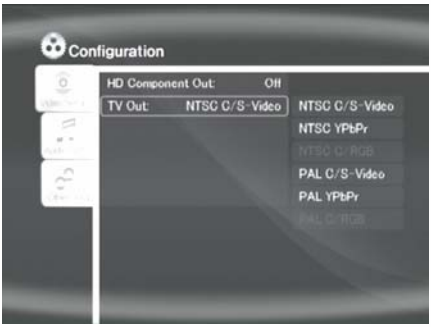
テレビの ビデオ入力モード	MP-1000J の ビデオ出力モード	使用するテレビの 映像入力端子	使用する ビデオケーブル
ノーマルビデオ	TV Out: NTSC C/S-Video (HD Component out Off)	コンポジットビデオ端子 (通常は黄色いジャック)	付属の AV ケーブル
	TV Out: PAL C/S-Video (HD Component out Off)		
S-ビデオ	対応していません	-	-
	対応していません		
コンポーネント 480i	TV Out: NTSC C/YPbPr (HD Component out Off)	コンポーネント ビデオ端子 * Y(緑), Pb(青), Pr(赤)	付属の コンポーネントケーブル * Y(緑), Pb(青), Pr(赤)
	TV Out: PAL C/YPbPr (HD Component out Off)		
コンポーネント 480p	HD Component out を 480p へ		
コンポーネント 720p	HD Component out を 720p へ		
コンポーネント 1080i	HD Component out を 108 0i へ		

※ NTSC, PAL ；テレビ出力方式。ご使用になる地域（国）により対応しているモードを選んでください。

※ 日本国内でご使用になられる場合は、「NTSC」を選択してください。

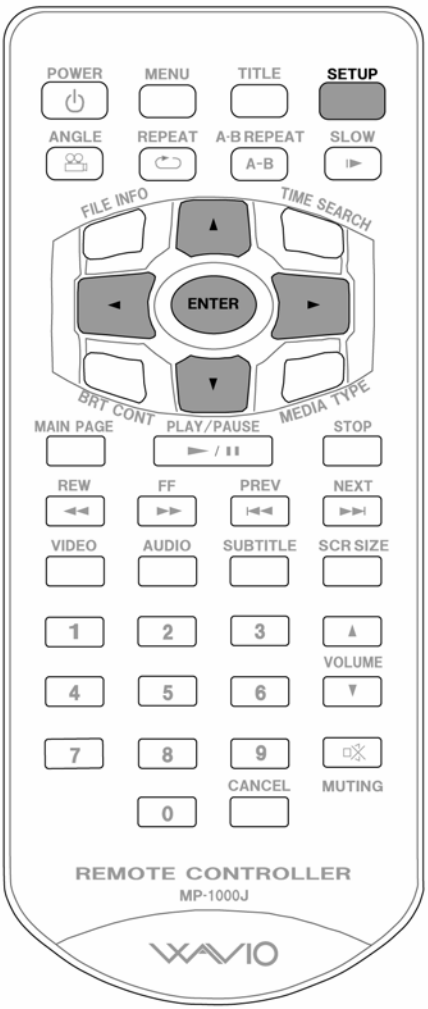
設定手順

①本機を起動させ、メディアタイプ選択画面でリモコンの[SETUP]ボタンを押します。



②“Video Setup”のアイコンを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
③使用したいビデオ出力モードを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
④最後に、リモコンの[SETUP]ボタンをもう一度押し、設定内容の保存をします。

▼付属リモコン



2.2.2 オーディオ設定

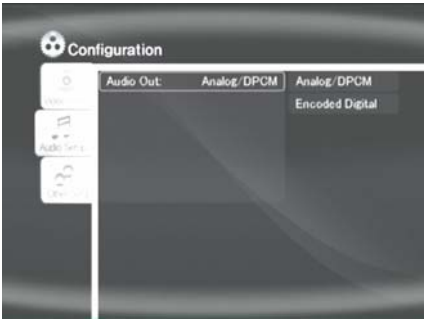
本機ではステレオあるいは同軸デジタル 5.1ch の音声出力を選択することができます。
本項の設定手順に従い、音声出力方法を設定してください。

※リモコンのボタン操作は、前ページのビデオ設定の設定手順をご参照ください。

※アナログ/DPCM：対応している AV ケーブル (赤 / 白)をテレビやオーディオアンプ等に直接接続する場合はこちらを選択してください。
※エンコーデッド　デジタル：5.1ch の音声で楽しむ場合は、同軸ケーブルを AV アンプ等に接続した後にこちらを選択してください。

設定手順

①本機を起動させ、メディアタイプ選択画面でリモコンの[SETUP]ボタンを押します。



②“Audio Setup”のアイコンを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
③使用したいオーディオ出力モードを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
④最後にリモコンの[SETUP]ボタンをもう一度押し、設定内容を保存します。

2.2.3 その他の設定

テレビタイプの設定、JPEG ファイルのプレビューや言語選択などは、以下の手順で行ってください。

設定手順

①本機を起動させ、メディアタイプ選択画面でリモコンの[SETUP]ボタンを押します。

②“Other Setup”のアイコンを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
③使用したい設定を選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
④最後に、リモコンの[SETUP]ボタンをもう一度押し、設定内容を保存します。

2.2.3.1 画面モード設定

「4:3 Letter Box」、「4:3 Pan Scan」、「16:9」の中から選択してください。

2.2.3.2 静止画プレビュー表示設定

画像ファイルを再生する前にサムネイル方式でプレビューする機能をオン/オフすることができます。
どちらかを選択してください。

2.2.3.3 ファームウェアバージョンを確認する

現在のファームウェアバージョンを確認できます。

※本機は、ファームウェアのアップデートはできません。

2.3 基本メニュー画面

2.3.1 メディアタイプの選択とファイルの選択

本機の電源を入れたら、メディアタイプ選択の画面が表示されます。
この画面ではリモコン十字キーボタン（▲▼◂ ▸）で“Video”、“Audio”、“Photo” あるいは“Playlist”を選択できます。リモコンで再生したいメディアタイプを選択し、[ENTER]ボタンを押してください。

①メディア選択画面で、リモコンを使って再生したいメディアタイプを選択し、[ENTER]ボタンを押してください。

②ハードディスクのパーティションをあらかじめ分割している場合は、このように見えます。ファイルの入っているパーティションを選択し、[ENTER]ボタンを押します。

②あらかじめファイルをフォルダー別に格納している場合は、まずフォルダーが見えます。ファイルを再生する場合は、各々のフォルダーを選択し、[ENTER]ボタンを押します。

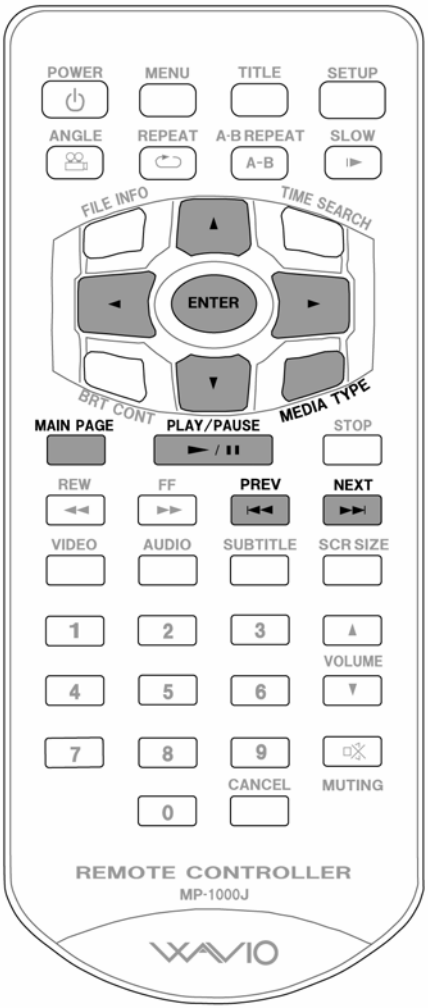
※メディアタイプボタンで“Video”を選択した場合は、フォルダーを開いてもビデオファイル以外は、表示されません。

④フォルダーを開くと、格納されているファイルが表示されます。再生するファイルを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
リモコンの基本操作方法は、次ページにて確認ください。

※いくつかのフォルダーが複数階層にわたり格納されている場合、「Up Derectry」を選択して、リモコンの[ENTER]ボタンを押すことで、再度上位階層のフォルダーに戻れます。

※一旦、特定のメディアファイルを再生した後、他のメディアファイルを選択し再生する場合、リモコンの[MEDIA TYPE]もしくは[MAIN PAGE]ボタンを押し、十字キーボタン◂ ▸ で他のメディアタイプを選択してください。
[MAIN PAGE]ボタンを押した場合は、メディアタイプ選択の初期画面に戻ります。

＜リモコンの基本操作方法＞



［ENTER］ボタン

☞選択したファイルを再生します。終了後、ファイル選択画面に戻ります。

▲▼ボタン

☞再生したいファイルを選択します。[ENTER]か[PLAY/PAUSE]ボタンで再生します。

◄ ►ボタン

☞◄ボタンで左のアイコンに移動します。► ボタンでファイル選択画面に戻ります。

[PLAY/PAUSE]ボタン

☞選択したファイルを再生します。終了後、引き続き次のファイルを再生します。

※画面左の「Play all」アイコンを選択した場合も同じ動作になります。

NEXT ►►I PREV I◄◄ボタン

☞画面中に多数のファイルがある場合は、次のページに移行します。

※[ENTER]ボタンを使って再生した場合は、[NEXT►►I, PREV I◄◄]ボタンは機能しません。

MEDIA TYPE ボタン

☞メディアタイプ選択画面に戻ります。

※画面左の「Media select」アイコンを選択した場合も同じ動作になります。

MAIN PAGE ボタン

☞メディアタイプ選択初期画面に戻ります。

4 ビデオファイルを再生する

AVI、MPG、MPEG、DAT、M2V や VOB といったビデオファイルを再生します。
メディアタイプ選択画面で“Video”を選択してください。ビデオファイルが表示されます※。
再生したいファイルを選択し、リモコンの[ENTER] か [PLAY/PAUSE] ボタンを押してください。
※ファイルがフォルダーに格納されている場合は、先にフォルダーが表示されます。

①メディアタイプ選択画面で“Video”を選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。

②再生したいファイルを選択し、リモコンの[ENTER]か[PLAY/PAUSE] ボタンを押します。

※メディアタイプ選択画面で“Video”を選択した場合は、ビデオファイルのみが表示されます。

<リモコンの機能とボタン説明>

※リモコンの各ボタンに関しては、2.9 リモートコントローラーの項を参照ください。

リモコン ボタン	機能	ボタン説明
AUDIO	**音声言語の変更**	オーディオフォーマットがデュアル音声言語の場合、音声言語を切り替えることができます。たとえば日本語と英語の切替など。
SUBTITLE	**サブタイトル（字幕）の移動とサイズの変更** 画面表示；Subtitle move & size	サブタイトル（字幕）のサイズと場所を変更することができます。 ①◄ ► ボタンでサイズを変更し、十字キー▼▲ボタンで場所を変更します。完了した後、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
	サブタイトルを表示/非表示 画面表示； Subtitle select	ビデオファイル名と同じサブタイトルが自動的に表示されますが、ほかのサブタイトルの表示/非表示ができます。
	サブタイトルの言語選択 画面表示；Subtitle lang. select	サブタイトルが日本語と英語などデュアル言語フォーマットの場合、サブタイトルの言語を切り替えることができます。“Discriminating subtitle language”を選択した場合、優先されるサブタイトルが表示されます。
	サブタイトルシンクロ 画面表示；Subtitle sync.	映像とサブタイトルが合わない場合は、◄ ►(1 秒) ▼▲(60 秒)で合わせることができます。
4, 5, 6 数字ボタン	**サブタイトル色変更**	「4」と「6」ボタンどちらかを押すことでサブタイトルの色が変わります。白色に戻すためには,「5」ボタンを押してください。

SCR SIZE	**ズーム** 画面表示；Zoom vertical	垂直方向にズームします。
	フルズーム 画面表示；Zoom full	画面全体を拡大します。
	カスタム 画面表示；Custom	▲▼◂ ▸ で画面をズームインまたはズームアウトします。
	デフォルト 画面表示；Default	画面をオリジナル配置に戻します。
	画面位置 画面表示；Screen position	▼▲◂ ▸ で画面を好きな場所へ移動できます。リモコンの[BRT CONT]ボタンで画面をオリジナル配置に戻します。
TIME SEARCH	**任意の再生時間場面へ移動**	再生中に指定した任意の再生時間の場面に移動します。
CANCEL	**入力した数字を削除**	このボタンでタイムサーチボックス内の全ての数字を０に戻せます。
BRT CONT	**色相　彩度　明るさ** **コントロール**	ボタンを押すごとに、色相(Brightness)・再度(Contrast)・明るさ(Saturation)の調整画面に切り替わります。 三つのモードを各々リモコンの十字キー◂ ▸ ボタンで調節します。
FILE INFO	**ファイル情報表示**	再生しているファイルの情報を表示します。もう一度押すと表示さている情報を隠します。
FF▸ ▸ ▸ ボタン	**早送り**	このボタンを押すと 8x, 16x, 32x の速さで早送り再生します。
REW◂ ◂ ◂ ボタン	**巻き戻し**	このボタンを押すと 8x, 16x, 32x の速さで巻き戻し再生します
VOLUME ▲ ▲ボタン	**音量アップ**	音量を大きくします。
VOLUME ▼ ▼ボタン	**音量ダウン**	音量を小さくします。
MUTE	**サウンドオフ**	音声をミュートにします。もう一度押すと元に戻せます。
ENTER	**ファイルを再生**	選択したファイルを再生する。終了後ファイル選択画面に戻ります。
PLAY/PAUSE ▸ II	**次のファイルを** **全部再生**	選択したファイルの再生が終了したら、次のファイルを再生します。
PLAY/PAUSE ▸ II	**ポーズ**	再生中にこのボタンを押すと、一時停止することができます。再生開始する場合、ボタンをもう一度押してください。
PREV I◂ ◂	**前のファイルを** **再生**	現在再生しているファイルの一つ前のファイルを再生します。 [ENTER]ボタンを使って再生した場合、この機能は作用しません。 この機能はリモコンの[PLAY/PAUSE]ボタンまたは“Play All”アイコンで再生した場合にのみ作用します。
NEXT ▸ ▸ I	**次のファイルを再生**	現在再生しているファイルの一つ後ろのファイルを再生します。 [ENTER]ボタンを使って再生した場合、この機能は作用しません。 この機能はリモコンの[PLAY/PAUSE]ボタンまたは“Play All”アイコンで再生した場合のみ作用します。
0 数字ボタン	**画面リセット**	ビデオファイルのフレームに破損が生じた場合、「0」を押して画面をリセットするときに使用します。

2.5 DVD ファイルを再生する

本機は DVD マネージャー機能を使って、DVD からリッピングしたファイルをオリジナルの DVD と同じように再生できます。
パソコン内で再生ファイルを作成する際、１タイトル分の DVD ファイルはあらかじめ作ったフォルダの中に全部格納し、フォルダーごと MP-1000J 本機に転送してください。テレビ(或いはモニター)に接続したら、フォルダ内の“Video_ts.ifo”というファイルを選択し、[ENTER]を押してください。

※DVD からリッピングしたファイルに“ VIDEO_TS.IFO”というファイルが見つからない場合、DVD マネジャー機能は動作しません。
※本機は CSS コピー保護のかかったタイトルは再生できません。

①メディアタイプ選択画面で“Video”を選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。

②DVD からリッピングしたファイルを格納したフォルダを開き、“video_ts.ifo’” ファイルを選択して[ENTER] ボタンを押す。

※メディアタイプ選択画面で“Audio”を選択した場合は、ビデオおよび DVD ファイルのみが表示されます。

<リモコンの機能とボタンの説明>

※リモコンの各ボタンに関しては、2.9 リモートコントローラーの項を参照ください。

リモコンボタン	機能	ボタン説明
AUDIO	オーディオタイプを選択	押すたびにオーディオタイプが変更されます。
SUBTITLE	サブタイトル（字幕）の言語を選択する	押すたびにサブタイトル（字幕）言語が変更されます。
SCR SIZE	画面サイズ	画面サイズを変更できます（3 タイプ）。
MENU	メニュー画面へ	DVD 再生中にメインメニューへジャンプします。
SLOW	スロー再生	ボタンを押すたびに 1/2x, 1/4x, 1/8x のスロー再生ができます。
REPEAT	チャプターまたはタイトルリピート	チャプターまたはタイトルをリピート再生できます。
A-B REPEAT	A-B リピート	任意の A-B 区間リピート再生の設定ができます。

TITLE	タイトルメニュー ヘジャンプ	DVD 再生中にタイトルメニューへジャンプできます。
ANGLE	アングルの変更	アングル変更機能を起動します（DVD タイトルにアングル情報が含まれている場合にのみこの機能は有効になります）。
FILE INFO	ファイル情報表示	再生しているファイルの情報を表示します。もう一度押すと表示されている情報を隠します。
TIME SEARCH	任意の再生時間へジヤンプ	指定した再生時間の場面にジャンプできます。
CANCEL	入力した数字を削除	タイムサーチボックスで全ての数字を０に戻せます。
BRT CONT	色相　彩度　明るさ コントロール	ボタンを押すごとに、色相(Brightness)・再度(Contrast)・明るさ(Saturation)の調整画面に切り替わります。 三つのモードを各々リモコン十字キーの◄　► ボタンで調節します。
PREV **I◄ ◄**	前のチャプターを再生	前のチャプターを再生します。
NEXT **► ►I**	次のチャプターを再生	次のチャプターを再生します。
FF **► ►**	早送り	ボタンを押すたびに 8x, 16x, 32x,48x の速さで早送り再生します。
REW **◄ ◄**	巻き戻し	ボタンを押すたびに 8x, 16x, 32x, 48x の速さで巻戻し再生します。
ENTER	再生	“Video_ts.ifo”ファイルを選択しこのボタンを押せば、再生します。
PLAY/PAUSE **► II**	ポース	再生中にこのボタンを押すと、一時停止することができます。再生を開始する場合、ボタンをもう一度押してください。
VOLUME ▲	音量アップ	音量を大きくできます。
VOLUME ▼	音量ダウン	音量を小さくできます。
MUTE	サウンドオフ	音声をミュートします。もう一度押すと元に戻せます。

2.6 音楽ファイルを再生する

本機は MP3, OGG, WAV, WMA.などの音楽ファイルを再生できます。
メディアタイプ選択画面でオーディオアイコンを選択すると、音楽ファイルが表示されます。
再生したい音楽ファイルにあわせてリモコンの[ENTER] か[PLAY/PAUSE] ボタンを押してください。
※ファイルがフォルダーに格納されている場合は、先にフォルダー画面が表示されます

①メディアタイプ選択画面で“Audio”を選択しリモコンの[ENTER]ボタンを押します。

②再生したいファイルにあわせて[ENTER]か[PLAY/PAUSE]ボタンを押します。

※メディアタイプ選択画面で“Audio”を選択した場合は、音楽ファイルのみが表示されます。

< リモコンのボタンと機能の説明>

※リモコンの各ボタンに関しては、2.9 リモートコントローラーの項を参照ください。

リモコンボタン	機能	ボタン説明
FILE INFO	ファイルの情報を表示する	再生しているファイルの情報を表示します。もう一度押すと表示されている情報を隠します。
TIME SEARCH	好きな再生時間へジヤンプ	指定した再生時間の箇所にジヤンプします。
CANCEL	入力した数字を削除	このボタンはタイムサーチボックスで全ての数字を０に戻せます。
BRT CONT	色相　彩度　明るさのコントロール	ボタンを押すごとに、色相(Brightness)・再度(Contrast)・明るさ(Saturation)の調整画面に切り替わります。 三つのモードをそれぞれ十字キーの◄ ► ボタンで調節します。
PREV I◄◄	前のファイルを再生する	現在再生しているファイルの一つ前のファイルを再生する。 ※[ENTER] を再生ボタンとして使った場合、この機能は作用しません。この機能は [PLAY/PAUSE] ボタンと“Play All”アイコンで再生した場合のみ作用します。
NEXT ►►I	次のファイルを再生する	現在再生しているファイルの一つ後ろのファイルを再生しまする。 ※[ENTER] を再生ボタンとして使った場合、この機能は作用しません。この機能は [PLAY/PAUSE] ボタンと“Play All”アイコンで再生

		した場合のみ作用します。
FF ►►	10 秒先へ早送りする	ファイル再生中にボタンを押すと、10 秒先にジャンプします。
REW ◄◄	10 秒前に巻き戻す	ファイル再生中にボタンを押すと、10 秒前にジャンプします。
ENTER	ファイルを再生する	再生したいファイルを選択しこのボタンを押すと、ファイルを再生します。終了後、ファイル選択画面に戻ります。
PLAY/PAUSE ►II	ファイルを再生する	再生したいファイルを選択しこのボタンを押すと、ファイルを再生します。終了後、次のファイルを再生します。
PLAY/PAUSE ►II	ポーズ	再生中にこのボタンを押すと、一時停止することができます。再生を開始する場合、ボタンをもう一度押してください。
VOLUME ▲	音量アップ	音量を大きくします。
VOLUME ▼	音量ダウン	音量を小さくします。
MUTE	サウンドオフ	音声をミュートにします。もう一度押すと元に戻せます。
SUBTITLE	MP3 のサブタイトルを隠す	サブタイトルに対応している MP3 のサブタイトルを見ることができます。その場合、このボタンを押すとサブタイトルを隠します。MP3 サブタイトルに対応しているファイルについては、下記を参照ください。

※テレビセットなしで MP3 を再生する方法（MP3 クィック再生）

あらかじめ“music”(半角)フォルダを作成し、MP3 ファイルをそこへ保存します。
ハードディスクが 2 つ以上の領域に区切られている場合は、主要領域に作成してください。
本機の電源を入れて、リモコンの[PLAY/PAUSE] ボタンを押してください。“music”フォルダ内にある MP3 ファイルが自動的に再生されます。なお、本機を再起動した場合、前回中断したところから再生します。

※MP3 のサブタイトルを見るためには

サブタイトルに対応している MP3 のサブタイトルを見ることができます。MP3 サブタイトル に対応しているファイルは“iriver caption editior”プログラムにより作成する必要があります。LDB プログラムに対応していません.

2.7 画像ファイルを再生する

JPG(JPEG)などの画像ファイルが再生できます。
メディアタイプ選択画面で PHOTO アイコンを選択し、画像ファイルが表示されます。見たいファイルを選択し、リモコンの[ENTER] か[PLAY/PAUSE] ボタンを押してください。
※ファイルがフォルダーに格納されている場合は、先にフォルダー画面が表示されます

①メディアタイプ選択画面で“Photo”アイコンを選択しリモコンの[Enter]ボタンを押す。

②見たいファイルを選択してリモコンの[ENTER]か[PLAY/PAUSE] ボタンを押す。
[ENTER]で再生すると、そのファイルだけを再生し、[PLAY/PAUSE]で再生するとスライドショー再生します。

※メディアタイプ選択画面で“Audio”を選択した場合は、音楽ファイルのみが表示されます。

<リモコンのボタンと機能の説明>

※リモコンの各ボタンに関しては、2.9 リモートコントローラーの項を参照ください。

リモコンボタン	機能	ボタン説明
FILE INFO	ファイルの情報を表示する	ボタンを押すと、再生しているファイルの情報を表示します。もう一度押すと表示されている情報を隠します。
PREV **I◄ ◄**	前のファイルを再生する	現在再生しているファイルの一つ前のファイルを再生します。 ※リモコンの[ENTER] を再生ボタンとして使った場合、この機能は作用しません。この機能は リモコンの[PLAY/PAUSE] ボタンと“Play All”アイコンで再生した場合のみ作用します。
NEXT **►►I**	次のファイルを再生する	現在再生しているファイルの一つ後ろのファイルを再生します。 ※リモコンの[ENTER] を再生ボタンとして使った場合、この機能は作用しません。この機能は リモコンの[PLAY/PAUSE] ボタンと“Play All”アイコンで再生した場合にのみ作用します。
ENTER	ファイルを再生する	再生したいファイルを選択しこのボタンを押すとファイルを再生します。終了後、ファイル選択画面に戻ります。

PLAY/PAUSE **►Ⅱ**	ファイルを再生する	再生したいファイルを選択しこのボタンを押すとファイルを再生します。終了後、次のファイルを再生します。
PLAY/PAUSE **►Ⅱ**	ポーズ	再生中にこのボタンを押すと、一時停止することができます。再生開始する場合、ボタンをもう一度押してください。
FF **►►**	ズームイン	画像を拡大します。
REW **◄◄**	ズームアウト	画像を縮小します。
ANGLE	画像の回転	ボタンを押すごとに画像を時計回りに 90 度回転させます。
►▲▼►	画像の位置の移動	上下左右に画像の位置を移動させます。
ENTER	オリジナル画像位置に戻す	画像を移動させた後、このボタンを押すと、オリジナルの位置に戻ります。
BRT CONT	色相　彩度　明るさ コントロール	ボタンを押すごとに、色相(Brightness)・再度(Contrast)・明るさ(Saturation)の調整画面に切り替わります。 三つのモードを各々リモコンの十字キー◄　►ボタンで調節します。

※スライドショー

“Play All”アイコン或いはリモコンの[PLAY/PAUSE]ボタンで再生した場合、スライドショーが自動的に始まります。

※BGM 付きスライドショー

スライドショー実行時に BGM を流したい場合 、ハードディスク内にあらかじめ“music”(半角)フォルダを作成し、その中にお好みの MP3 ファイルを保存します。

スライドショー実行時に“music”フォルダーに保存された音楽が BGM として再生されます。

ハードディスクが 2 つの領域に区切られている場合は、主要領域に作成してください。

2.8 プレイリストを作成する

ビデオ、音楽や画像など全てのファイルを一括してプレイリストに登録できます。 プレイリストに登録されたファイルは、メディアタイプに関係なく順番に再生されます。

※登録されたファイルを個別再生することはできません。“Play All” か“Random Play”アイコン或いはリモコンの[PLAY/PAUSE]ボタンで再生してください。
注）本機の電源を一旦切りますと、作成したプレイリストは削除されます。

① メディアタイプ選択画面で“Playlist”アイコンを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。

②各メディアタイプを選択し、リストに入れたいファイルを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押す（チェックマークが付きます）。すべてのメディアタイプのファイル選択が終了押したら、リモコン十字キー◀ボタンを押して左アイコンへ移動し、“Display” アイコンを選択して [ENTER].ボタンを押します。

③左のようにプレイリスト画面が表示されれば、先ほど登録されたファイルを以下のいずれかの方法で再生します。

・Play All アイコン→順番に再生する。
・Random Play アイコン→ランダム再生する。
・Play/Pause ボタン→順番に再生する。

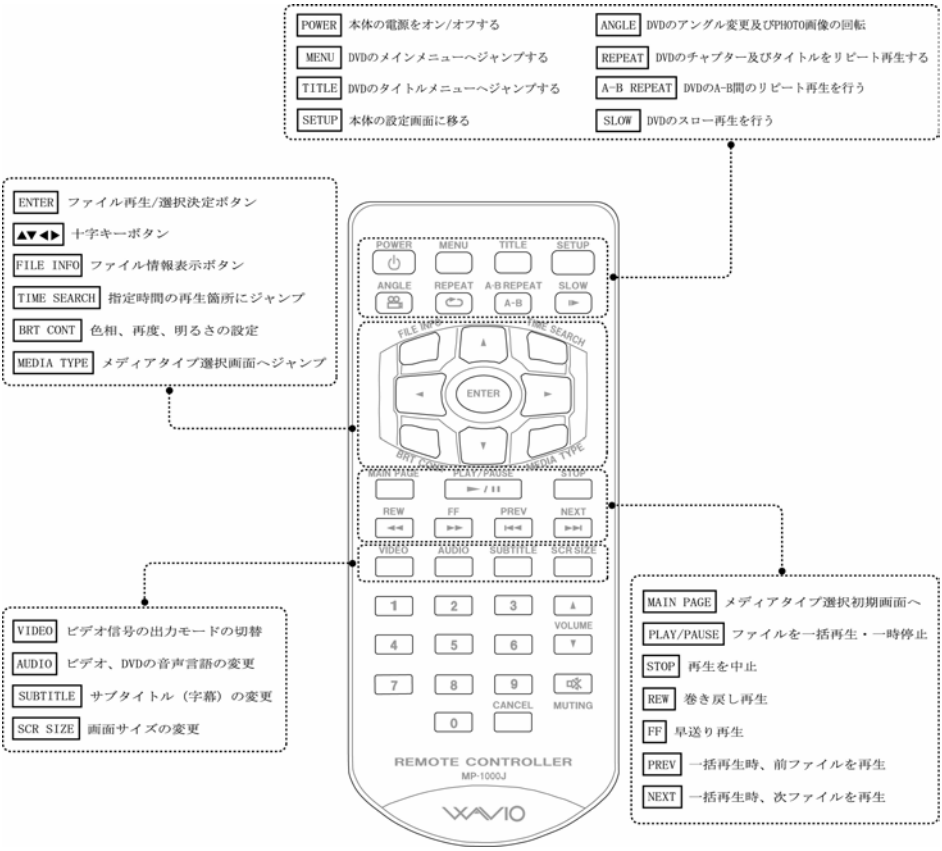
*

※その他の操作

・プレイリストファイルを全て消すには左の“Delete All”アイコンを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを押します。
・プレイリストファイルを個別に削除するには、プレイリストの削除したいファイルを選択し、リモコンの[ENTER]ボタンを二回続けて押してください。
・プレイリストファイルの順番を変更する場合は、変更したいファイルを選択しリモコンの[ENTER] ボタンを押し、リモコンの十字キーの▲▼で移動先を選択し、再度[ENTER]ボタンを押してください。

2.9 リモートコントローラー

付属リモコンの基本操作に関する説明です。詳しい操作説明は「2.3 基本メニュー画面」「2.4 Play ビデオファイルを再生する」「2.5 DVD ファイルを再生する」「2.6 音楽ファイルを再生する」「2.7 画像ファイルを再生する」「2.8 プレイリストを作成する」を参照ください。



コイン型電池の装着・交換（型番：CR2025）

① リモコンの本体から電池トレイを完全に引き出す。② 電池をトレイに乗せる ③ トレイを完全にリモコンの本体に差し込む。

※交換用電池は上記型番をお確かめの上、お買い求めください。

2.10 その他

2.10.1 背景画像を変更する

本機は、操作画面の背景画像を変更することができます。あらかじめハードディスク内に“mybg.jpg”というファイル名で画像ファイルを保存しますと、背景画像は、そのファイル画像に変更されます。
尚、画像サイズは「720x480 ピクセル」のイメージを使うことを推奨します。
※サイズが違いますと、うまく表示されない場合があります。

2.10.2 文字の色を変更する

ファイルを再生する前に“1”ボタンを押すと、文字色が白または黒に変更されます。背景画像に合わせて文字色を白か黒色に変更することで、文字を読みやすくすることができます。

お客様ご相談窓口

製品に関するお問い合わせは、オンキヨーコールセンターへお願いいたします。

オンキヨーコールセンター
電話番号　050-3161-9555
受付時間；平日 9:30～17:30（土・日・祝日及び弊社の定める休業日を除く）

・お問い合わせ 1 回のお電話につき、全国一律 10.8 円/3 分の料金でご利用いただけます。
・携帯電話、PHS からのご利用は、お客様と電話会社のご契約の通話料金となります。

オンキヨーマーケティング株式会社

音響映像機器保証書

持込修理

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社に修理を依頼してください。

品番	MP-1000J	お買い上げ日	年　月　日
お客様	お名前　様	保証期間（お買い上げ日より）	本体　1 年
	ご住所　〒 電話番号　（　）	取扱販売店名・住所・電話番号	

●お客様へのお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、お電話番号をわかりやすくご記入ください。

●ご販売店様へ
お買い上げ日、貴店名、住所、電話番号を記入のうえ、保証書をお客様へお渡しください。

オンキヨーマーケティング株式会社　〒572-0028　大阪府寝屋川市日新町1番13号

キリトリ線

〈無料修理規程〉

本保証書は保証期間中、商品のハードウェアを保障するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意にしたがった使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店またはオンキヨーマーケティング株式会社にご依頼ください。ご返送は弊社負担ですが、送られるときは送料をご負担ください。
3. ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、オンキヨーマーケティング株式会社にご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   1）使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
   2）お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
   3）お客様のご要望による出張修理を行う場合の出張料金
   4）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害(硫化ガス等)、異常電圧、指定外の使用電源(電圧・周波数)、水掛かり等による故障および損傷
   5）一般家庭用以外(例えば、業務用の使用、車両・船舶への搭載等)に使用された場合の故障および損傷
   6）消耗品(各部ゴム、電池、レコード針、キャリングケース、イヤークッション等)の交換
   7）本書の提示がない場合
   8）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは文字を書きかえられた場合
   9）故障の原因が本製品以外の他社製品にある場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
7. 故障・その他による営業上の機会損失は当社では保証いたしません。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または「お客様ご相談窓口・修理窓口のご案内」をご覧のうえ、当社へお問い合わせください。